



ダイレクト印刷機により微妙なハイライトまで再現

Company Profile

株式会社アート

住 所 / 〒572-0072

寝屋川市太間東町23-12

設 立 / 昭和45年5月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 37名

T E L / 072-833-4008

F A X / 072-833-8200

■主な事業内容

段ボール印刷のデザインおよび製版（印版の製作）から印刷まで

■主な取引先

段ボール製造会社、衛生用品製造会社、薬品製造会社、食品会社 等



当社のセールスポイント

環境にやさしいシステムで訴求力のある段ボールを小ロットからご提案します。



代表取締役社長
本川 禎久さん

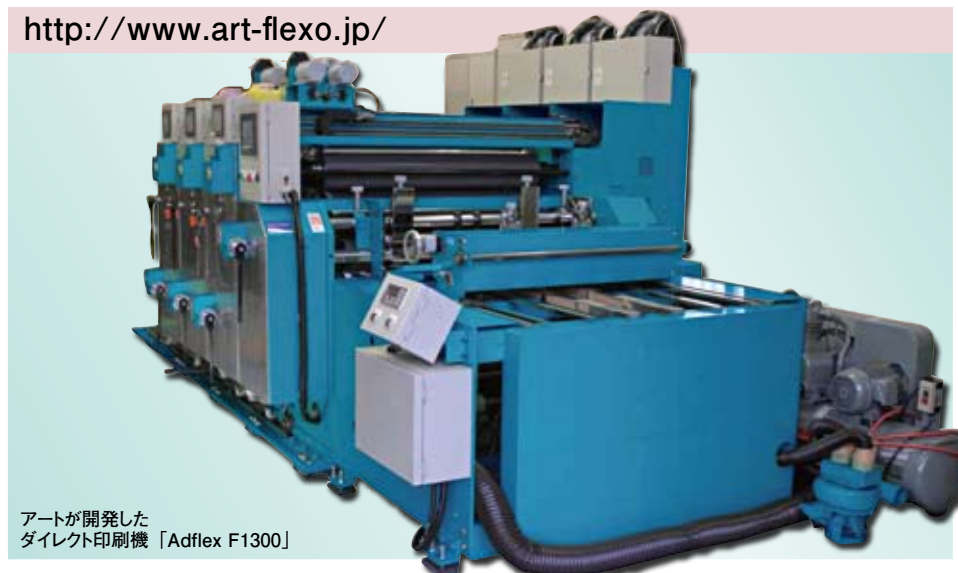
景気の先行きが読みにくい時代、企業にとって大事なのは差別化とトータルコストダウンです。そのためにも、今まで輸送の道具だった段ボールにデザインという付加価値をつけ、商品イメージを効果的に訴求すること。そして、多品種小ロットに対応できる印刷で徹底してムダをなくすことでお役に立ちたい。アートなら、それができます。

独自に開発したダイレクト印刷機で表現豊かな段ボールの未来を開拓

株式会社アート

<http://www.art-flexo.jp/>

関西
21



アートが開発したダイレクト印刷機「Adflex F1300」

環境にやさしいフレキシソ印刷のバイオニアとして

昔から、リサイクルの王様と呼ばれる段ボール。業界では、何十年も前から環境にやさしいフレキシソ印刷が導入されている。フレキシソ印刷は、水性インキや紫外線硬化型インキを使用するため、溶剤インキを使うグラビア印刷や油性インキを使うオフセット印刷に比べて環境負荷が小さく、衛生面でも評価が高いとされる。その反面、鮮明な色が出にくく表現に乏しいという難点があった。

アートは、ダイレクトレーザー彫刻機を使った精巧な印版と自社開発の印刷機によって、それらを見事に克服。業界の常識を覆す鮮明で美しい段ボール印刷を可能にした先駆けとなった。

同社は、昭和45年に段ボール印刷の製版会社としてスタート。以来、アナログ製版を中心に営業していたが、創業者である本川社長は「アナログだけでは将来、どこか

で壁にぶつかるとはなかった。段ボールにも何かできることはないだろうか」と常に危機感を抱いていた。そして、国内はもとよりヨーロッパ各地の視察を経て平成18年に導入したのが、高精度のデジタル制御によって高品質な印版を再現できるダイレクトレーザー彫刻機だった。



ダイレクトレーザー彫刻機

高品質な印版づくりからフレキシソ印刷機の独自開発へ

ダイレクトレーザー彫刻による印版の最大の特徴は、非常に細かい

ポイントの文字やアナログ印版では難しかった3%以下の網点——つまり微妙なハイライトが再現できること。たとえば、金属の光沢感や果実のしずくなどがリアルに表現できるようになったのだ。さらに翌年には、その精巧な印版を生かした印刷を実現するアートオリジナルフレキシソ3色印刷機を開発。給紙と紙送りの機構に工夫し、印刷ずれを0.3mm以内と従来の10分の1以下に抑えることで仕上がりの精度を大幅に向上させることに成功した。

アートが長年にわたって段ボール印刷に携わり、蓄積したノウハウの集大成であるこのダイレクト印刷機は業界関係者の間でも評判となり、平成20年5月からは販売も始まっている。地球温暖化対策が急がれ、企業活動にも環境への配慮が問われる時代にあつて、環境にやさしいフレキシソ印刷のフィールドを広げる同社の存在価値はますます高まっていくに違いない。